

滿洲帝國政府

鐵鋼製鋼價格改訂ニ關スル件

新案、六、一五、二八
七、三、二八
産業部

鐵鋼製鋼價格ヲ左ノ要領ニ依リ改訂セムトス
一、國內統制販賣價格ヲ左ノ通り改訂ス

(イ) 統 鐵 (ベース) 新編値 一〇五圓 一〇五

(ロ) 鋼 材 (丸鋼ベース) 二二五圓 二二五

(ハ) 牛 版 鉄 (丸鋼ベース) 一八一圓 一八一

二、國內生産品買取價格ヲ左ノ通り改訂ス

(イ) 統 鐵 (ベース) 新編値 九〇圓 九〇

(ロ) 鋼 材 (丸鋼ベース) 一八〇圓 一八〇

(ハ) 牛 版 鉄 (丸鋼ベース) 一六〇圓 一六〇

三、國內特殊販賣價格ヲ左ノ通り改訂セムトス

(イ) 軍用特殊價格ハ昭和七年度ニ依リ國內品買取價格ニ統制價格ヲ加算シタルモノトシ昭和八年度以降ニ於テハ統制販賣價格ニ依ルモノトス

日守子持
野田



滿洲帝國政府

(四) 滿鐵同重軌條 (雜目板組合セ、モノ一ハ應龍二〇一トシ其他ハ

凡テ統制販賣價格ニ依ルモノトス

四、對日輸出入税、新價格ヲ左、起リ改訂セムトス

(1) 統 鐵 (三號ベイス 新 鐵 值 一〇〇五圓)

(四) 半 成 品 (No 2 ベイス 新 鐵 值 一〇〇五圓)

(二) 鋼 材 (丸鋼ベイス 新 鐵 值 一〇〇五圓)

五、前各項ノ新鐵價ハ康徳七年四月十六日ヨリ實施スルモノトス

但シ日本側ト協議決定ニ到ル迄ハ右新鐵價ヲ以テ假仕切實施スルモノトス

但シ對日新鐵價ハ改訂後、各々ハ右側ト協議決定ニ到ル迄ハ右新鐵價ヲ以テ假仕切實施スルモノトス



滿洲帝國政府

備考

新舊價值對比表

統制販賣價格（基準地渡賣需要價值）

備品種類	新舊價值	備品種類	新舊價值	統制販賣價格			
				國內向半成品	日本向	日本輸入備材	日本輸入備材
鞍山(三號)鐵	九〇〇〇	鞍山(三號)鐵	九〇〇〇	一八二〇〇	一〇五〇〇	〇一五〇〇	〇一五〇〇
鞍山(三號)鐵	六五〇〇	鞍山(三號)鐵	六五〇〇	一五二〇〇	七九〇〇	一六五〇〇	一六五〇〇
鞍山(三號)鐵	二五〇〇	鞍山(三號)鐵	二五〇〇	三〇〇〇	二六〇〇	三〇〇〇	二六〇〇
鞍山(三號)鐵	二九六三%	鞍山(三號)鐵	二九六三%	一九八七%	三二九一%	一八二一%	一八二一%

用0101 B列5

(6. 4. 50.000册 近澤納)

9-1



說明

我國鐵鋼統制價格ハ康徳四年七月決定セル「鐵鋼及鋼材ノ配給管理
 及價格統制要綱」ニ基キ輸入品及國內生産品ヲ連シ之ヲ適正ナル價
 格ニ統制シ爾來其ノ統制價格ヲ堅持強行シ以テ日滿兩國ノ産業建設
 ニ寄與シテ來レリ

然レトモ石炭價格ノ引上、炭質低下ニ因ル^{引上炭を}押入量ノ著増、送炭不足
 ニ因ル操業率ノ低下、鐵鋼設備遲延ニ基ク穩定負擔力ノ欠缺、建設
 資金累積ニ伴フ金相負擔ノ增高、物價昂騰ニ基ク直接、間接費ノ増
 大等ノ事情ハ國內統制原價ヲ著シク騰貴セシメ買取價格大幅引上ゲ
 ノ、巴ムトキニ至ラシメタルノミナラス從來價格操作ニ活用シ來タリ
 タル鐵鋼平衡資金ハ過渡期和製鐵所ノ負擔補填ニ允當シタル爲調整
 資金瀕渴ノ現状トナリ統制原價價格亦引上ケ、外ナキモノト認メテ
 ルルヲ以テ新タナル原價基準ノ下ニ統制價格ノ適正化ヲ圖ルト共ニ
 對日輸出入統制價格ヲ台帳的ニ調整セムトスルモノナリ



買取價格及統制價格、繼續改訂ニ當リテハ日滿經濟最近、動向ニ照
應勘案スヘキハ勿論生産諸條件ノ最悪ナル昨今、採算事情ヲ重視ス
ルコトナク極々恒常ノ採算採算ヲ基準トスヘキモ、ト認ム生産諸
條件惡化ニ伴フ現實ノ採算關係、苦難ハ事業經營ノ價値的合理化ニ
依リ之ヲ突破スルコトトシ特ニ調整資金積立ニ付テハ若干ノ限り必要
ナル最少限度ニ抑制シ勢ノテ低價政策堅持ノ方針ニ順應セムコト
ヲ期シタリ

尙統制價格改訂、此、機會ヲ以テ日滿一體ノ原則ニ從ヒ相互輸出入
價格ノ合理的調整ヲ實現シ且特殊價格ハ之ヲ撤廢セムトス

